

やっている
「曲げ感覚」が身に付く!

水の下に隠れる部分だから
緑の下の力持ち

下ノ江テクニカル株式会社



船舶の舵を取る部分など 細かい部分の「曲げ」を造る

必ずチームで作業。
分厚い鉄板を、設計図に合わせ船舶の「曲線部分」の細かいアールを付け、
曲げていく作業の専門会社です。



1 / きちんと曲がったかを確認 2 / 船舶の設計図にしたがって曲がり角度を指定した型 (ものさし) が支給される
3 / 今回作業するのはこの部分ですよ、と現場長。 4 / 船の舵の部分で構成する曲線がある鉄板の 1 枚 5 / チームで息を合わせて機械を操作



こんな仕事です

船舶の船底に近いほうには曲線が多いが、その部分を作るため、鉄板に設計図指定通りのアールを付ける作業を行う専門会社。厚い鉄板に数トンの圧をかけ、型がぴったりはまるようなアールに仕上げるのはまさに職人技。厚い鉄板と重い圧を操りながら思い通りの角度をつけるのは、まさに重工業的で圧倒される。



鉄板を曲げる

素材の鉄板

会社情報 Company profile

会社名	下ノ江テクニカル株式会社
業種	プレス加工、現図
代表者	代表取締役 渡邊世治
会社住所	大分県臼杵市大字下ノ江1200番地
社員数	9名
平均年齢	46.1歳



採用情報 Recruit information

職種	プレス加工、現図
職務内容	
勤務地	下ノ江造船(株)本社工場
勤務時間	8:00~17:00
給与	180,000~230,000円(残業含む)
休日	下ノ江造船(株)のカレンダーに準ずる
各種手当	通勤手当、家庭手当
保険等	労災保険、雇用保険、厚生年金、健康保険
応募資格	18歳以上、経験者優遇
応募方法	履歴書持参の上面接
問合せ先	0972-97-2216 下ノ江造船(株)内 渡邊世治

突撃ライターが
ずばり社長に聞いた!

下ノ江テクニカルはどんな会社?

船の舵周りなど、 重要な曲線部分を加工します

モナコの王子様から大手企業CEOまでいろんな社長を取材してきたライターが社長にインタビュー。
わかりやすく会社のことを説明してもらいました。

左に置かれている木枠が必要なアールに
合わせて作られた一種のものさし。
背景にある木枠はすべて船舶の違う鉄
板ごとのもので、これに合わせて一枚
一枚加工していく。



ドーン、と何かすごく大きな力がかかっている腹底に響くような響きと音。下ノ江テクニカルは鉄板の「曲げ」を行っている会社です。作業長の高瀬さんは「当社は下ノ江造船所の子会社で、正確には協力会社ではないんですが、同じ造船所内、協力しながら作業しています」とにこやかに。

大きな船の美しいカーブも 数ミリの手作業から

鉄板の曲げ加工専門、という会社があるなんて知りませんでした。「そんなに特殊な加工ではないと思うんですが、ちょっとやってみましょうか。この板は船舶の舵周りのアールに使われているものなのですが（とテニスコート半面くらいの大きさの鉄板を指さす）これはあくまで舵周りの1/30くらいの1枚です。宇宙

戦艦ヤマトとかでイメージしていただけると、あのあたりが曲線で構成されていることが分かるかと思います」

鉄板には数センチごとに直線が引かれており、まさに数センチごとに圧をかけて少しずつ、サイズ通りに曲げていくのだとか。正確さと根気のいる仕事です。「そうですね、午前中かけて1枚とか、作業ペースはそんな感じです」

自分の成長が分かるのがうれしい

重いものを持つ必要はなく、ものさしに合わせた設計図通りのアールを付けるのが主な作業です。しかし一見簡単そうに見えるが、そんなに思い通りの曲げが出てくるんでしょうか? 「曲げすぎたら逆方向からまた圧をかけて

修正します。鉄板も素材によって曲がり方が違ったりするので、やはり経験を重ねると分かってきます。僕らはそれを曲げ感覚ができる、って言うてるんですが、3年くらいはかかるかと思います」



下ノ江テクニカル株式会社 渡辺社長
「細かい仕事ですが、アールは大事です」

社員が
本音で語ります

ここに仕事のやりがい、あります

精密さに萌える

「厚い鉄板に何度も圧をかけ、数時間かけて設計図通りの曲げにしていけるのですが、型のものさしを当ててぴったり仕上がったときはやはりすごく嬉しいです」



下ノ江造船のアットホームさ

「他の造船所は知らんですが、他から移ってきた人はここは働きやすいと言いますね」



ランチタイムのお楽しみ

「ランチは食事場に行ってお腹を膨らませますが、仕出し弁当が多いです。ここの仕出し弁当は地元のおばちゃんらが作って大分名物鳥天や姫竹の煮たのとか、季節を感じさせるものが入っています」



休日はプレステ3

「休日はしっかり休めます。自分はTVゲームが好きで、休みの日はもっぱらプレステ3ばかり。出勤にも時間がかからんし、のんびり暮らせませす」



チームでものをつくる楽しさ

「重工業の機械なんで、必ず3人で組んで扱います。自分とは人と協力しながら、息を合わせて作業すると、達成感が三倍に感じますね」



こんな人に ぴったりの仕事です

- 機械操作が好きな人
- 自分で工夫を重ねるのが好きな人
- ゆっくり確実に作業出来る人
- 設計図を見るのが好きな人
- ものづくりが好きな人

会社の日常を
のぞいてみた!

スケジュール

- 07:30 車で出勤。通勤時間15分
- 07:45 朝礼と体操
- 08:00 仕事開始
- 10:00 タバコ休憩
- 12:00 昼休み
- 13:00 午後の仕事開始
- 15:00 コーヒー休憩
- 17:00 仕事終了
- 17:30 翌日の準備をして帰路へ
- 18:00 帰宅

必ず家族と夕飯が
食べられる

アンテナなど「あれを造った」と
自慢しやすい

有限会社矢野工業



マストや煙突など 船舶艤装制作で信頼を集める

船のパーツ作りのスペシャリストは、船を安全かつ快適に動かすために無くてはならない存在。
鉄を繋ぎ合わせたり削ったりして
一つ一つ手作業で製品を仕上げる、モノづくりが大好きな会社です。



1 / 矢野工業が手がけるのはアンテナ、マスト、ボラード（ロープをまきつける部位）など船舶の艤装品（ぎそうひん）。溶接は大事な工程。2 / 下ノ江造船所内に工場がある。3 / ケミカル船のパイプ溶接も行う。4 / 社長は二代目、41歳とまだ若手



こんな仕事です

矢野工業が主に手掛けるのは船舶艤装（ぎそう）。ざっくり言うと船の本体以外についているものすべてで、煙突、マスト、アンテナなどが含まれる。これらは既製品があるわけではなく、その船舶に合わせた設計のものを一から加工し、取り付けるのだそう。したがって金属加工、溶接などが主な作業となる。

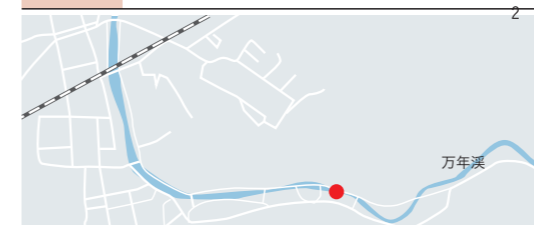


加工中の艤装品

下ノ江造船所内の工場

会社情報 Company profile

会社名	有限会社矢野工業
業種	造船業
代表者	矢野圭一郎
会社住所	〒875-0042 大分県臼杵市大字海添1539番地
社員数	8名
平均年齢	46歳



採用情報 Recruit information

職種	艤装品製作
職務内容	船舶に取り付ける小物から大型の設備を製作しています
勤務地	臼杵市下ノ江202 下ノ江造船(株)内
勤務時間	8:00~17:00 工程により残業あり
給与	【日給】9,200~ 残業(割増あり) 【月額】18~25万
休日	造船所カレンダーによる土日祝日等の年間108日
各種手当	
保険等	労災保険、雇用保険、健康保険、厚生年金
応募資格	不問、経験者優遇
応募方法	携帯へお電話ください
問合せ先	担当 矢野(090-9571-4597)

突撃ライターが
ずばり社長に聞いた!

矢野工業はどんな会社?

「艀装品のルールを知り尽くしています」

モナコの王子様から大手企業CEOまでいろんな社長を取材してきたライターが社長にインタビュー。
わかりやすく会社のことを説明してもらいました。

矢野工業の社員は現在6名。フィリピンからの研修生も働いており、ここに声をかけあって楽しそうです。艀装品は種類があるため、作業内容も様々であり「飽きないですよ」とのこと。



矢野工業社長の矢野さんは二代目でもまだ40代前半と、かなり若い経営者です。「子どものころから自然と造船業界に親しんでいたのが、就職するときは本社(下ノ江造船)に入社したんです。そこで主に検査官をやりました」

船の中でも特殊な艀装品の加工が誇らしい

検査官とは、造船所で造られたブロックなどの各パーツや、塗装などの各段階で設計図や安全基準として定められたものを満たしているか確認する職務です。「そこで厳格な基準と学んだことが会社に活かされています。艀装品には製品の品質とは違うルールがあって、それを満たさなくてはならないんですね」

艀装品という特殊な加工品を作る会社はあまりなく、仕事が切れることはなく、安定しているそうです。「また同じ半自動溶接でも、艀装品の場合、煙突、アンテナなど作るものは日々変わります。だから『飽きなくていい』とよく社員に言われますね」また、煙突、アンテナなど外から見てわかるものを作っているため、テレビなどで納品した船が映ると「あの煙突はウチが作ったと説明しやすい」と笑います。

ワークライフバランスが大事

20代の頃から矢野工業を手伝うなどして造船業で働いていたという矢野さんが大事にしているもの、それは「真面目に働く人が働き続けられる環境を作る。それと、毎日安全であること」だそうです。

「私自身、仕事のモチベーションは家族です。小さな町の造船所だからこそ、通勤に時間がかかりませんし、毎日家族と夕飯を一緒に食べることができます。ワークライフバランス、ということが最近言われていますが、人間らしい暮らしをすることって大事ですよ」



有限会社矢野工業 矢野圭一郎
「毎日の夕飯が楽しみです」

社員が
本音で語ります

ここに仕事のやりがい、あります

「モノづくり」感がある

「造船で溶接がメインの仕事だと、『船を作った』っていうって目に見えない部分だったりします。艀装品だとアンテナとか煙突とか説明しやすいし、『これを作った!』という充実感があります」



飽きない作業

「艀装品は船のサイズなどによって1つつ違ったり、種類もいろいろなので、毎日同じように鉄板を切っている…見たい感じではなく、飽きないです。鉄で工作している感じに近いかも」



きちんと休んで仕事に集中

「昼は仕出し弁当を食べることが多いんですが、地元のお母さんが作っているので、地元の味がほっとします。その他にコーヒー休憩があるんですが、こういう休み時間をちゃんと取れると、集中できて仕事はかどりますよ」



笑いが絶えない仲間

「海外からの研修生も働いています。作業にはコミュニケーションが大事なので、どうしようと思っていましたが、互いにかたことでも、全然問題ないですね。仕事を共にして仲間意識が芽生え、休憩では冗談を言い合ったりしています」



大きな船を作っている一体感

「船のような巨大なものは1社では作れないので、造船所では何社もの協力会社やそのスタッフが一緒に働いていますが、みんなで同じものをいっせいに作っているわけなので、大きな家族みたいです」



こんな人に ぴったりの仕事です

- モノづくりが楽しい人
- 溶接が好きな人
- 溶接技術を持つ年配の人
- 溶接に興味がある女性

会社の日常を
のぞいてみた!

スケジュール

- 07:30 車で出勤。通勤時間15分
- 07:45 朝礼と体操
- 08:00 仕事開始
- 10:00 15分休憩
- 12:00 昼休み
- 13:00 午後の仕事開始
- 15:00 15分休憩
- 17:00 仕事終了
- 17:30 翌日の準備をして帰路へ
- 18:00 帰宅

毎日コツコツで
技術が身に付く

引き渡し式でいつも
感動します

株式会社アルプス工業



NC 切断、ひずみ取りなど 金属加工のスペシャリスト

下ノ江造船所、上組大分工場内に工場があり、
金属加工のスペシャリストとして信頼されているアルプス工業。
「コツコツ続ける」ことで技術を磨き、手に職を付けられる会社です。



1 / NC 裁断。船の材料となる鉄板でも細かい部分を高温のガスで焼いて切る 2 / かなり火花が上がる 3 / NC 裁断オペレーター 4 / 熟練の業で曲げ加工を施す



こんな仕事です

造船での金属加工を行うアルプス工業では、NC切断、アイトレーサー、ひずみとり、アングルベンダー（曲げの機械）を使い、設計図に記された必要な部品を作成していく。一見きつそうなNCオペレーターは実は体力がいらないので、以前は女性のオペレーターもいたとか。アングルベンダーも資格取得の必要はなく、むしろ「経験」を重ねることが大事な仕事です。



アイトレーサーで部材の切り出し

アングルベンダーで曲げた部材

会社情報 Company profile

会社名	株式会社アルプス工業
業種	鉄板加工業
代表者	代表取締役 麻生祥平
会社住所	〒879-2456 大分県津久見市門前町1-17
社員数	10名
平均年齢	43.6歳



採用情報 Recruit information

職種	NC切断、プレス加工、歪取り
職務内容	
勤務地	大分市大分工場、臼杵市下ノ江工場
勤務時間	8:00~17:00
給与	182,600~220,000円
休日	第2・4土曜日、日曜日、別途カレンダー
各種手当	資格取得補助
保険等	労災保険、雇用保険、厚生年金、健康保険
応募資格	18歳以上
応募方法	電話にて連絡後、履歴書持参のうえ面接
問合せ先	☎080-5219-7324 担当 麻生 祥平

突撃ライターが
ずばり社長に聞いた!

アルプス工業はどんな会社?

「造船の金属加工をコツコツやっています」

モナコの王子様から大手企業CEOまでいろんな社長を取材してきたライターが社長にインタビュー。
わかりやすく会社のことを説明してもらいました。



社員は現在4名。大分工場のほうが大きい。社員の平均年齢は35歳くらいで、一人でコツコツやる作業がほとんどだ。この写真ではアイトレーサーで細かい部材を切断する操作を行っている。

デニム生地の作業着に、どこかおしゃべりっぽいカタカナの社名。どうしてアルプス工業っていうんですか、と聞いてみたら、二代目社長の麻生さんが教えてくれました。

目指すはオンリーワン

「この会社の名前は元々始めた父が付けた。社名の由来はビートたけしが扮する鬼瓦権造にヒントを得たという話もあり本当かどうかは知りません(笑)」という、なかなかユニークな社風のようなのです。「真面目な話に戻りますが、ウチは金属加工の会社です。入社したらまずNC切断オペレーターをやってもらおうことが多いです。それが、一番自動化されていて、コツがいらないので。その後、慣れや適正にした

がって他の作業を覚えてもらったりします。一番難しいのはひずみとりでしょうか。これは大分工場のほうで行っているんですが、溶接でひずみが出た鉄板を熱したり冷却したりしながらまっすぐに戻すもので、コツがかなり必要です。また、設計図で指示された角度に鉄を曲げるアングルベンダーも、数値通りに曲げられるようになるまでは10年かかると言われています」

まずは簡単な作業から始めて、徐々にスキルアップしていく

一人前の職人になるには年月がかかるので、コツコツやれる環境を整えています、と麻生さん。「経験豊富な社員がいるので、そこについて教えてもらっています。本当に大事な技

術って、資格取得ではなく、年月で磨かれるものなんですよ」



アルプス工業 麻生祥平
「造船所内NO.1のおしゃれ作業着です(笑)」

社員が
本音で語ります

ここに仕事のやりがい、あります

自動化の奇跡

「NC切断は写真の設計図面を機械が読み取ってその通りに鉄板を切断してくれるんです。なので、機械が操作できるのなら誰でも作業が可能ですが、型紙を切ってるような楽しさがあります」(30代男性)



25年かけて身に着けた技術

「アングルベンダーとひずみ取りを主に担当しています。アングルベンダーは設計図の数値通りに鉄を曲げていくものですが、素材もそれぞれ違いがあるし、思い通りに使えるようになるまで10年くらいかかりましたかね。でも一生の財産の技能です。この先もまだ磨かれると思っています」(60代男性)



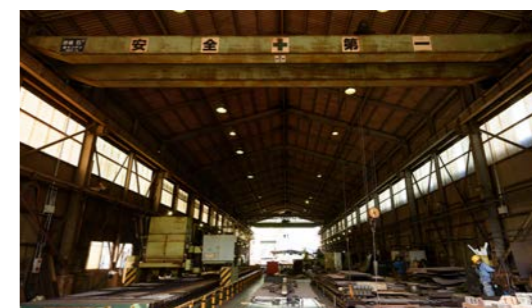
引き渡し式が最高

「進水式は出来た船を水に浮かべる式で、その先も船上での作業があります。我々にとって最高なのは、船主さんに船を引き渡す『引き渡し式』です。クレーンもなく、社長さんなどから『ありがとう』と言われると、毎回ほっとすると同時にじわじわと達成感がこみ上げます」(40代男性)



個々の仕事に打ち込める

「工場内は広いし、自分のその日の作業に没入できる環境です。コツコツやりたい人に向いています」(30代男性)



コツコツやる仕事です

「主にアイトレーサーを担当しています。一人でコツコツ向き合ってる仕事です」(30代男性)



こんな人に ぴったりの仕事です

- 大きなモノづくりに興味がある人
- コツコツと毎日の作業が出来る人
- 一人で作業したい人
- 代わりがない技術を身に着けたい人

会社の日常を
のぞいてみた!

スケジュール

- 07:30
車で出勤。
通勤時間
15分
- 07:45
朝礼と
体操
- 08:00
仕事開始
- 10:00
15分休憩
- 12:00
昼休み
- 13:00
午後の
仕事開始
- 15:00
15分休憩
- 17:00
仕事終了
- 17:30
翌日の
準備をして
帰路へ
- 18:00
帰宅